

ワイヤレスTVチューナー

セットアップガイド –Android編– PAWTV002

本書は、本製品の取り扱い方法について説明しています。

保証書別添付

はじめに

このたびは東芝「ワイヤレスTVチューナー」をお買い求めいただき、ありがとうございます。

ワイヤレスTVチューナーをご使用いただくためには、はじめに「TOSHIBA Service Station」から専用アプリ「ワイヤレスTV設定」をインストールしていただく必要があります。インストール方法については、本書の「アプリケーションの準備」の記載をご確認ください。

本書について

本書では「ワイヤレスTVチューナー」を「本製品」と表記しています。本書では地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送を総称して「デジタル放送」と表記しています。本書では110度CSデジタル放送を「CSデジタル放送」と表記しています。本書で使用している画像は、実際とは異なる場合があります。本書に記載されていない操作方法については、専用アプリケーションのヘルプを参照してください。

安心してお使いいただくために

本書には、ご使用の際の重要な情報や、お客様やほかの人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項が示されています。本書は、必要なときにすぐに参照できるように、お手元に置いてご使用ください。お子様がお使いになるときは、保護者のかたが本書の中身をお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。本書では、本製品を安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。

■表示の説明

| 表示 | 表示の意味 |
|----|--|
| | “取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことが想定されること”を示します。 |
| | “取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（＊2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊3）の発生が想定されること”を示します。 |

- *1：重傷とは失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
- *2：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど（高温・低温）、感電などをさします。
- *3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

■お願い

- 次のことをご承知ください。
- 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは禁止されています。
 - 本書の内容については、予告なしに変更することがあります。
 - 本書の内容について、万が一不可解な点や誤りなど、お気づきの点がございましたら、「お客様ご相談窓口（裏面を参照してください）」までご一報ください。
 - 保証書は記入内容をご確認のうえ、大切に保管してください。

製品仕様

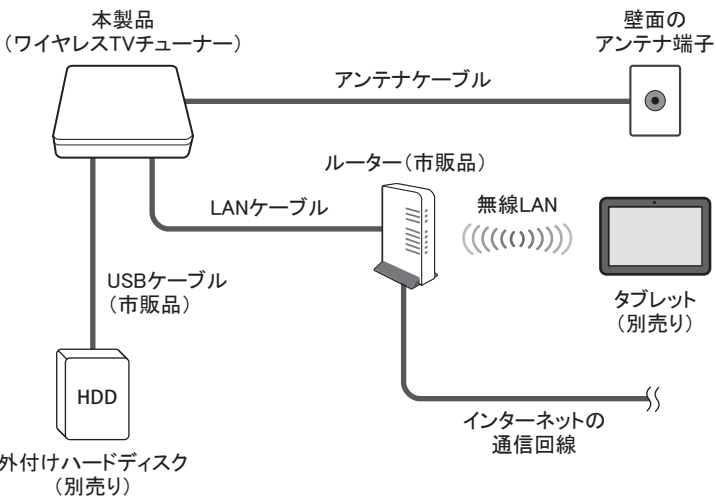
| | |
|-------------|--|
| 接続方式 | IEEE 802.11a/b/g/n(STモード＊1) IEEE 802.11a/b/g(APモード＊1) |
| 周波数帯 | 2.4GHz帯／5.2GHz帯 |
| セキュリティ | WPA2-PSK(AES) |
| 電源 | AC100V 50Hz/60Hz |
| 消費電力 | 最大 19W |
| 受信放送 | 地上デジタルテレビ放送、ケーブルテレビ(C13～C63)パススルー対応、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送 地上デジタル/BSデジタル/110度CSデジタル混合アンテナ端子(F型コネクタ)、mini B-CASカード挿入口、LANコネクタ(10BASE-T/100BASE-TX)、電源コネクタ(DC入力)、USB2.0(Aタイプ)×1(外付けハードディスクドライブ用) |
| インターフェース | 最大2.0TB |
| 対応ハードディスク容量 | 最大2.0TB |
| 外形寸法 | スタンドあり：約180mm(W)×150(D)×85(H)mm スタンドなし：約170mm(W)×150(D)×38(H)mm (突起部を除く) |
| 質量 | 約345g |
| 使用温度範囲 | 温度：5℃～35℃ 湿度：20～80%RH(ただし、結露しないこと) |

*1「本製品の機能の名称について」を参照してください。

- ・本製品は技術基準適合証明を受けた特定無線装置を内蔵しています。
- ・本製品は、社団法人電波産業会(ARIB)が定める規格に準拠した仕様になっています。将来、規格の変更があった場合は、予告なしに仕様を変更する場合があります。
- ・仕様および外観は、性能向上やその他の理由で予告なく変更される場合があります。
- ・データ放送に対応しておりません。

接続イメージ

本製品の接続例です。



インターネットの接続環境について

本製品はインターネットの接続環境が必要です。

用語について

ワイヤレスTVチューナー

本製品の名称です。『セットアップガイド(本書)』および『安心してお使いいただくために』では、「本製品」と表記します。アプリケーション内の説明では、「チューナー」と表記する場合があります。

ルーター

2つ以上の機器のデータを中継する通信機器です。インターネットに接続する機能を持つものもあります。有線LANルーターは、LANケーブルで機器を接続するものです。無線LANルーターは、有線LANルーターにアクセスポイントの機能が追加され、無線LANでも機器を接続できるようになったものです。

アクセスポイント

タブレットを無線LANでネットワークに接続するための通信機器です。有線LANルーターのみの場合など、無線LANに接続する機器がない場合などで使用します。

本製品の機能の名称について

APモード

使用するルーターと本製品をLANケーブルで接続するモードです。購入時または本製品をリセットした場合の設定は、「APモード」になります。

STモード

使用する無線LANルーターなどと本製品を無線LANで接続するモードです。

■メモ

- ・本製品にルーター機能はありません。

本製品の準備

本体と付属品を接続する

miniB-CASカードを取り付ける

警告

- miniB-CASカードを取りはずしている場合は、カードを乳幼児の手の届かないところに保管する
誤って飲み込むと窒息のおそれがあります。万が一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

注意

- miniB-CASカードは、**かならず図の方向で差し込むこと**
誤った方向で差し込むとデジタル放送の視聴ができません。また、無理に押し込むとカードが抜けなくなったり、本体が破損したりするおそれがあります。



●miniB-CASカードの取り出し方法

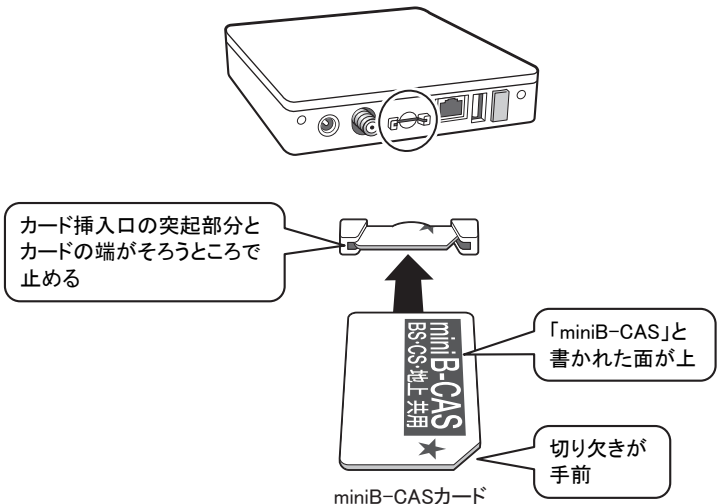
抜くときは指でつまむか、ピンセットなどでカードを傷つけないようにして引き出してください。

- 本製品の電源が入っているときは、miniB-CASカードの取り付け、取りはずしを行わないこと
取り付け、取りはずしを行うと、本製品やminiB-CASカードが破損するおそれがあります。

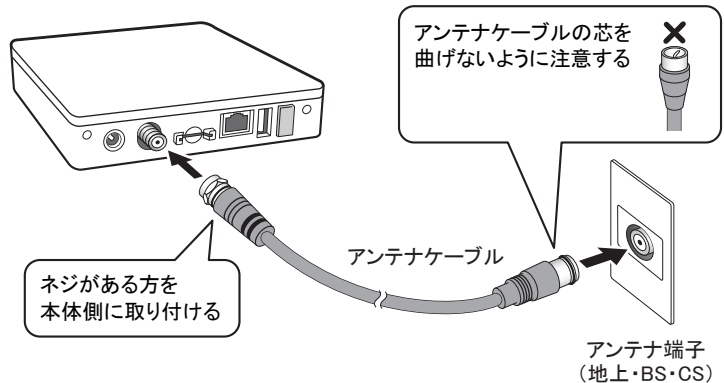
■お願い

- ・miniB-CASカード挿入口に、miniB-CASカード以外のものを入れないでください。

miniB-CASカードを台紙から取り出して、本体に差し込んでください。



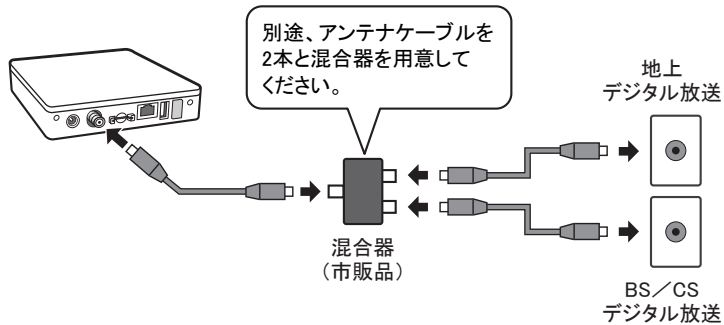
アンテナケーブルを接続する



- *BS/CS/パラボラアンテナへの電源供給には対応していません。市販の電源供給器などを利用してください。
- *ケーブルテレビで受信する場合、デジタル放送に対応していればアンテナの設置は不要です。放送方式がパススルー方式であることを確認してください。

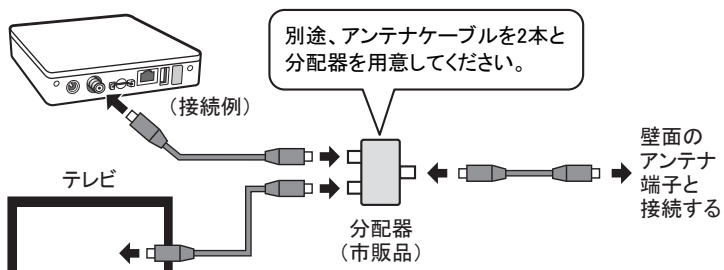
壁面のアンテナ端子が分かれている場合

壁面のアンテナ端子が、地上デジタル放送とBS/CSデジタル放送で分かれているときは、混合器(市販品)を使って接続してください。



テレビも同時に接続する場合

ご使用になる環境に合わせて、市販のアンテナケーブルや、分配器などを用意してください。

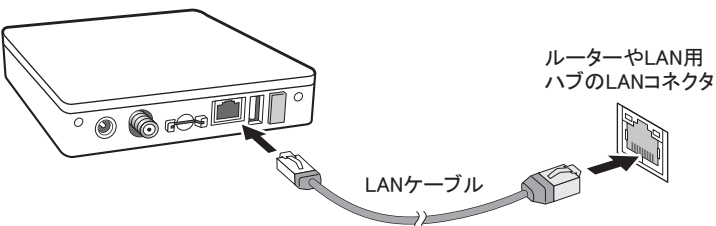


- ・壁に混合アンテナ端子(UHF・BS・CS)が複数ある場合、分配器は不要です。詳しくは、お近くの電器店などにお問い合わせください。
- ・分配器を使用すると、受信感度が低下する場合があります。

LANケーブルを接続する

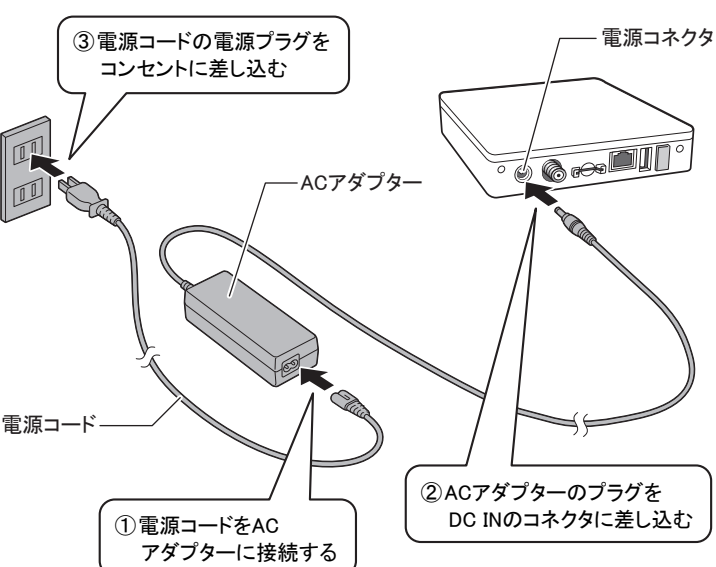
タイプA タイプB (タイプについてはページ2(裏面)参照)

LANケーブルをルーターやLAN用ハブなどのLANコネクタと接続します。本製品と無線LANルーターを無線LANで接続する場合は、この手順を行いません。



コンセントに差し込む

次の図の①→②→③の順で接続してください。



警告

- ACアダプターは本製品に付属のものを使用する
本製品付属以外のACアダプターを使用すると、電圧や(+)(-)の極性が異なっていることがあるため、火災、破裂、発煙のおそれがあります。
- 本製品とACアダプターを接続する場合、本書に記載してある順番を守って接続する
順番を守らないと、ACアダプターのDC出力プラグが帯電し、感電またはけがをする場合があります。また、ACアダプターのプラグを本製品の電源コネクタ以外の金属部分に触れないようにしてください。

注意

- 本製品付属の電源コードは、本製品付属のACアダプター以外には使用しない
本製品付属の電源コードは、本製品付属のACアダプター専用です。

アプリケーションの準備

アプリケーションをインストールする

「TOSHIBA Service Station」から専用アプリをインストールまたは更新します。

- ① ホーム画面で (アプリ) → (Service Station) をタップする
「TOSHIBA Service Station」が起動します。
 - 初めて起動したときは
「TOSHIBA Service Station」は本製品の識別情報などを当社のサーバーへ送信します。詳しい内容を説明した使用許諾書が表示されるので、内容を確認し[同意する]をタップしてください。同意しないと「TOSHIBA Service Station」を使用することができません。
- ② [すべてのアップデートを確認]をタップする
- ③ 画面の指示に従って操作する
次のアプリケーションが表示される場合は、必ず更新してください。インストールまたは更新が必要なアプリは次のとおりです。
 - ・ワイヤレスTV設定
 - ・RZプレーヤー
 - ・RZライブ
 - ・RZライブラリ
 - ・RZポーター^{*1}
 - ・RZライブラリ ポーター拡張^{*1}

- *1 本製品ではポーター機能を使用できませんが、互換性保持のため更新してください。

アップデート中は、電源を切ったり、中断しないでください。

視聴するには

タブレットで本製品の映像を見たり、本製品を設定したりするには、次のアプリケーションを使用します。

- RZライブ
テレビの映像をライブ視聴します。
- RZプレーヤー
外付けハードディスクに録画した番組を再生します。
- ワイヤレスTV設定
ワイヤレスTVチューナーの設定を行います。

録画するには

*外付けハードディスクを接続しているときのみ

- ワイヤレスTV設定
「番組表」から、録画予約および放送中の番組の録画も行うことができます。

外付けハードディスクを接続する

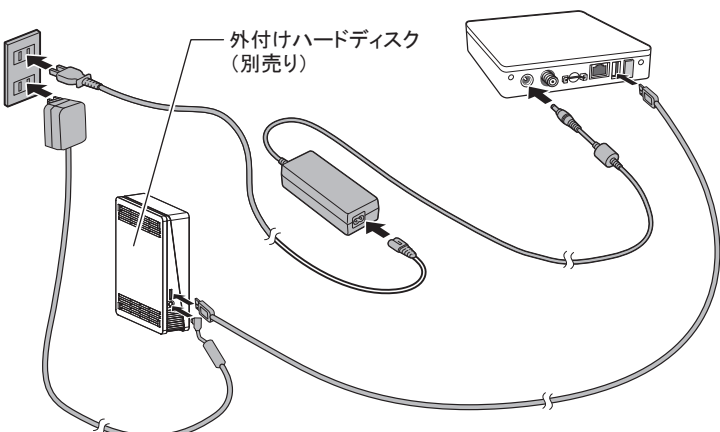
本製品で録画するには、外付けハードディスク(別売り)が必要です。録画するときは、かならず接続しておいてください。本製品で使用できるハードディスクは、容量が2TB以下のものに限りです。動作確認済みハードディスクについては、東芝PC周辺機器情報サイトの本製品の製品紹介ページに記載していますので、ご確認ください。

東芝PC周辺機器情報サイト：
<http://www3.toshiba.co.jp/pc/peripheral/top.htm>
*ハードディスクの使いかたや使用上の注意については、お使いの機器の取扱説明書を参照してください。

●本製品に外付けハードディスクを接続する

ハードディスクを接続する前に本製品の電源コードをコンセントから抜いておいてください。ACアダプターと電源コードを接続したまま接続するとハードディスクが認識されません。かならず下記の順番で行ってください。

- ① 本製品の電源コードをコンセントから抜く
- ② ハードディスクとハードディスクに付属のACアダプターを接続し、ACアダプターをコンセントに差し込む
- ③ ハードディスクに付属のUSBケーブルでハードディスクと本製品を接続する
- ④ 本製品の電源コードをもう一度コンセントに差し込む



●本製品から外付けハードディスクを取りはずす

外付けハードディスクを取りはずすときは、本製品の電源コードをコンセントから抜いてから、それぞれのケーブルを取りはずしてください。

外付けハードディスクの接続について

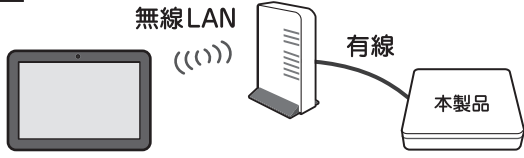
- 外付けハードディスクの使用上の注意事項については、外付けハードディスクの取扱説明書を確認してください。
- ほかのレコーダーやテレビ、パソコンなどで使用していた外付けハードディスクを本製品に接続して登録すると、それまでに保存されていたデータや録画番組などはすべて消去されます。
- 本製品で使用していた外付けハードディスクをパソコンで使用するには、パソコンで初期化する必要があります。その場合、本製品で保存した内容はすべて消去されます。
- 外付けハードディスクの動作中は、本製品や外付けハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりしないでください。録画した内容が消えたり、外付けハードディスクが故障する原因となります。
- 本製品に接続しているハードディスクを、別のワイヤレスTVチューナーに接続しても、本製品で録画した番組は再生できません。
- 本製品と外付けハードディスクを接続したり、取りはずすときは、本書で説明している手順を確認し、行ってください。
- USBハブを使った接続はサポートしていません。
- 『安心してお使いいただくために』の「たいせつな録画について」も確認してください。

本製品の設定

本製品の接続方法について

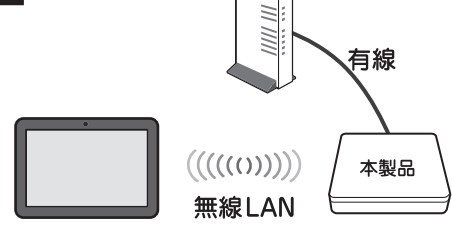
本製品の接続方法は、大きく分けて3つのタイプがあります。以降の説明は、この3つのタイプにあわせて行います。

タイプA



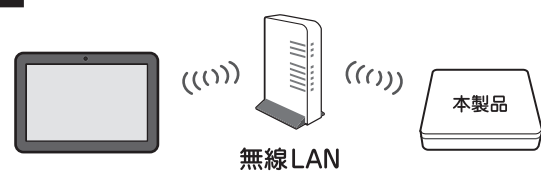
最も基本的な接続方法です。すでに無線LANルーターを中心にしてネットワークを構築している状態で、無線LANルーターにLANコネクタがある場合は、こちらを選択してください。無線LANルーターの代わりに、有線LANルーターと無線LAN用のアクセスポイントでネットワークを構築している場合も、こちらを選択してください。ルーターにLANコネクタがない場合は、タイプCを選択してください。

タイプB



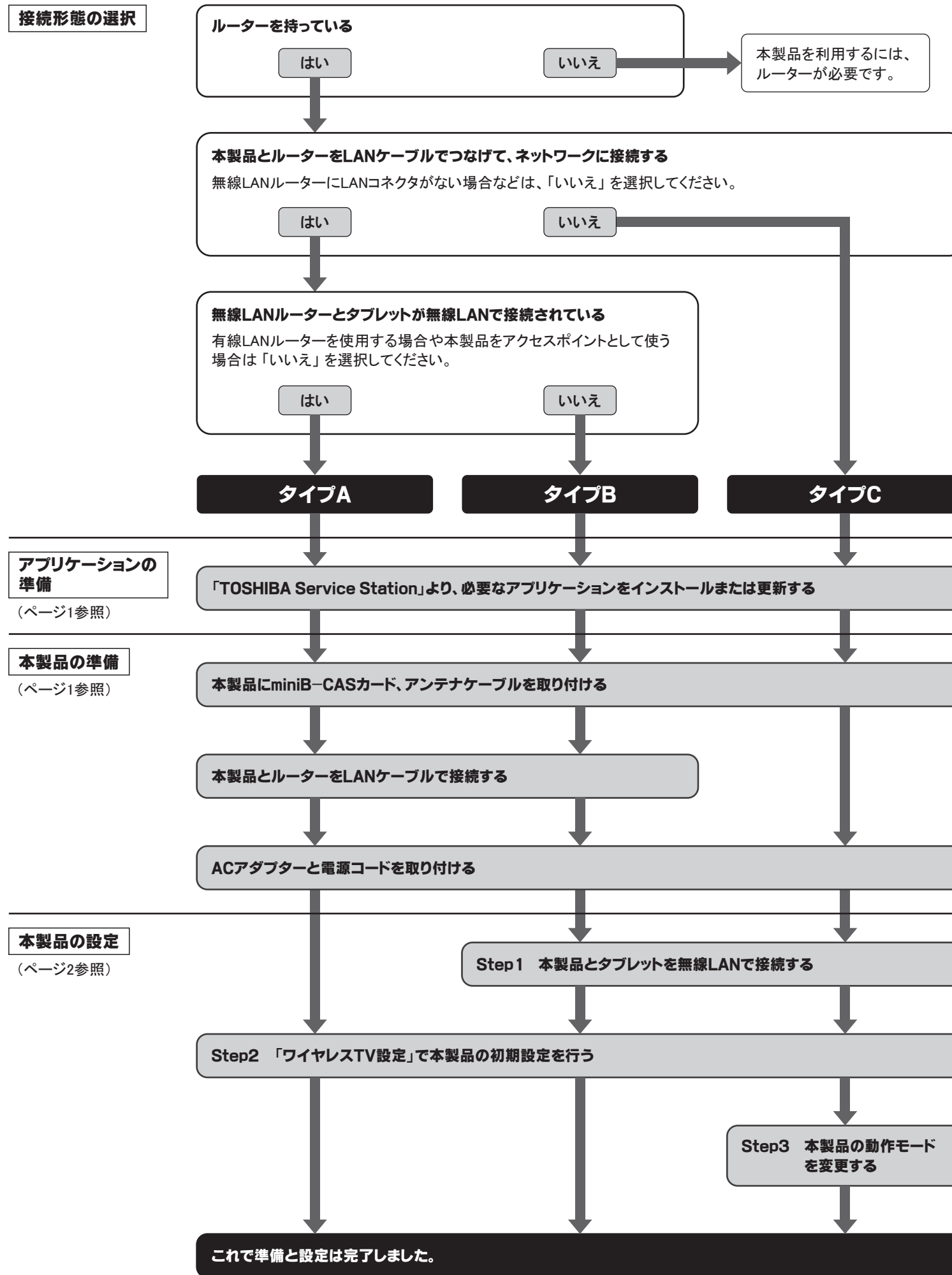
本製品を無線LANのアクセスポイントとして使用し、タブレットと無線LANで接続します。有線LANルーターでネットワークを構築していて、タブレットを無線LANで接続したい場合は、こちらを選択してください。

タイプC



本製品と無線LANルーターやアクセスポイントを、無線LANで接続します。無線LANのネットワーク環境はあるが、ルーターに有線LANコネクタがない場合や、家庭のアンテナ端子とルーターの位置が遠すぎて、有線LANで接続できないなど、本製品を無線LANでネットワークに接続させたい場合は、こちらを選択してください。

本製品を使用するまでの流れ



Step2 本製品の初期設定を行う

タイプA タイプB タイプC

- ① タブレットのホーム画面で [アプリ一覧] をタップする
- ② 「ワイヤレスTV設定」をタップする



本製品を検索します。「ワイヤレスTVチューナーが見つかりませんでした。」というメッセージが表示された場合は、設定を終了し、もう一度本体と付属品の接続から確認してください。問題がない場合は、「ワイヤレスTVチューナーの接続確認」画面が表示されます。

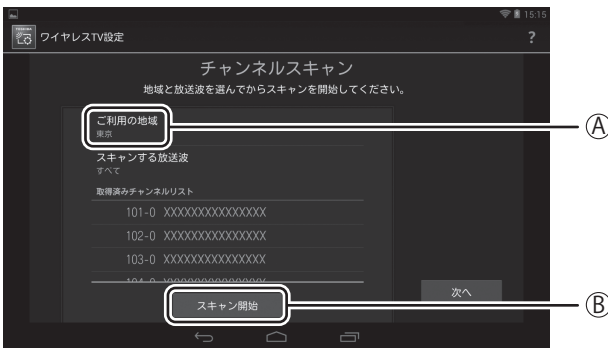
■本製品のファームウェア更新
ファームウェアを更新するメッセージが表示されたら、画面の案内に従い、更新してください。

- ③ 画面の案内に従い、ケーブルやminiB-CASカードなどが正しく接続されていることを確認し、「次へ」を選択する



「チャンネルスキャン」画面が表示されます。

- ④ 「ご利用の地域」で地域を選択し④、「スキャン開始」をタップする⑤



メッセージが表示されます。

- ⑤ [OK]をタップする
チャンネルスキャンが開始されます。チャンネルスキャンが完了すると、メッセージが表示されます。確認して[OK]をタップしてください。
- ⑥ [次へ]をタップする
[STモードをご利用になる場合]画面が表示されます。タイプCではStep3でSTモードの設定を行います。表示されている内容を確認してください。
- ⑦ [設定完了]をタップする
「ワイヤレスTV設定」の設定画面が表示されます。

Step3 本製品の動作モードを変更する

タイプC

Step2を完了した段階で、本製品とタブレットは、お互いに無線LANで接続している状態になっていますが、無線LANルーター(アクセスポイントを含む)には接続していません。

Step3では、無線LANルーターに、本製品とタブレットをそれぞれ接続し直します。無線LANルーターとタブレットの接続方法については、それぞれの取扱説明書を確認してください。

無線LANルーターと本製品を無線LANで接続するには、事前に本製品を接続したい無線LANルーターの「SSID」と「セキュリティキー」を確認して、メモしてください。

- ① タブレットのホーム画面で [アプリ] をタップする
- ② 「ワイヤレスTV設定」をタップする
- ③ [Wi-Fi設定]をタップし④、[動作モード]をタップする⑤



- ④ [STモード]をタップする



- ⑤ 次の内容を設定する

| 項目 | 設定 | 内容 |
|------------------|----|---|
| 無線LAN接続設定 | | |
| SSID | 必要 | 無線LANルーターのSSIDとセキュリティキーを入力する。 |
| セキュリティキー | 必要 | 無線LANルーターの周波数(2.4GHz、5.2GHz)を選択する。両方の周波数に対応している場合は、5.2GHzの使用をおすすめします。 |
| 電波状況 | 不要 | 無線LANルーターの電波状態を表示します。STモードの設定後に表示されます。 |
| セキュリティ | 不要 | 本製品が対応している暗号方式です。本製品に接続する機器が対応していることを確認してください。 |
| IPアドレス設定 | | |
| IPアドレス割当 | 必要 | 自動取得(DHCP)の使用をおすすめします。 |

- ⑥ [OK]ボタンをタップする

本製品の無線LANランプが5秒間、緑色に点灯するまで待ってください。

本製品がSTモードで起動すると、タブレットは元の接続先(無線LANルーター)と自動的に再接続しますが、再接続しない場合は次の手順を行ってください。

- ⑦ タブレットのホーム画面右下のステータスエリアをタップする
- ⑧ [Wi-Fi]をタップする
- ⑨ [Wi-Fi]をタップする
- ⑩ 「Wi-Fi」の一覧から無線LANルーターの「SSID」と同じ文字列をタップする
- ⑪ 「パスワード」に無線LANルーターの「KEY」を入力し、「接続」をタップする

■メモ

・本製品と無線LANルーターが無線LANで接続しない場合は、リセットボタン(『安心してお使いいただくために』参照)を押して、もう一度設定を行ってください。

Step1 本製品とタブレットを無線LANで接続する

タイプA

Step1の設定は行いません。Step2に進んでください。

タイプB タイプC

タブレットと本製品を無線LANで接続します。本製品の「SSID」と「KEY」は、本製品裏面に記載されています。タイプCの場合、本製品の設定のため、一時的に本製品と無線LANで接続します。

- ① タブレットを起動し、ホーム画面右下のステータスエリアをタップする



- ② [Wi-Fi]をタップする



- ③ [Wi-Fi]をタップする

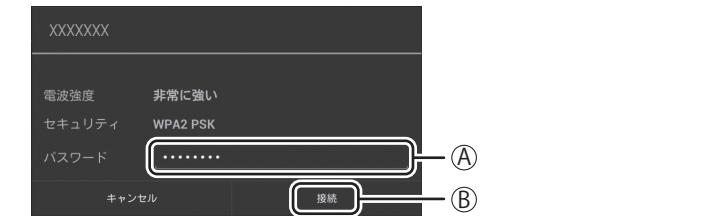


タブレットの周辺の無線LAN ネットワークが検出され、画面右側に一覧表示されます。

- ④ 「Wi-Fi」の一覧から本製品の「SSID」と同じ文字列をタップする
一覧に、本製品の「2.4GHz」と「5.2GHz」のSSIDが、両方表示されている場合は「5.2GHz」のSSIDをおすすめします。



- ⑤ 「パスワード」に本製品の「KEY」を入力し④、[接続]をタップする⑥



設定が終了すると、本製品のSSIDの下に「接続済み」と表示されます。

お客様ご相談窓口のご案内

■お客様ご相談窓口

この製品のアフターサービスは、下記にて承っております。

東芝PCあんしんサポート

技術的なご質問、お問い合わせ、修理のご依頼をお受けいたします。

全国共通電話番号 **0120-97-1048** (通話料無料)

おかけただくと、ガイダンスが流れます。ガイダンスに従ってご希望の窓口に該当する番号をプッシュしてください。

電話番号は、お間違えのないよう、ご確認の上おかけください。海外からの電話、携帯電話、PHS、一部のIP電話および直取引線など回線契約によってはつながらない場合がございます。その場合はTEL 043-298-8780 (通話料お客様負担)にお問い合わせください。ご相談の内容により、別のサポート窓口をご案内する場合がございます。

技術相談窓口受付時間:9:00~19:00(年中無休)
修理相談窓口受付時間:9:00~22:00(年末年始12/31~1/3を除く)

インターネットでもご利用ください。
http://dynabook.com/assistpc/index_j.htm

インターネットで修理のお申し込み
http://dynabook.com/assistpc/repaircenter/l_repair.htm

■お願い

- ・本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは禁止されています。
- ・本書の内容については、予告なしに変更することがあります。
- ・購入時に決められた条件以外での、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。お取り扱いにはご注意ください。
- ・本書の内容について、万が一不可解な点や誤りなど、お気づきの点がございましたら「お客様ご相談窓口」までご一報ください。
- ・保証書は記入内容をご確認のうえ、大切に保管してください。

■Trademarks

- ・Google, Androidは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- ・Wi-FiはWi-Fi Allianceの登録商標です。
- ・その他記載されている会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

日本国内用です

本製品を使用できるのは日本国内のみです。
This product can not be used in foreign country as designed for Japan only.

ワイヤレスTVチューナー
セットアップガイド - Android編 -
2013年3月 A1版発行

株式会社 **東芝** デジタルプロダクツ&サービス社

〒105-8001 東京都港区芝浦一丁目1番1号
<http://www3.toshiba.co.jp/pc/peripheral/top.htm>

© 2013 TOSHIBA CORPORATION ALL RIGHTS RESERVED
無断複製および転載を禁ず